



Center News No.55

2003.6.27

<http://www.cc.saga-u.ac.jp/>

問い合わせ：業務室(8592)

センター相談：月、水～金 12:15～16:15

パスワード変更 URL

<https://intauth1.edu.cc.saga-u.ac.jp/>

1. メール受信要求時のパスワード等の暗号化通信 (POPS/IMAPS) について

1. メール受信要求時のパスワード等の暗号化通信 (POPS/IMAPS) について

学情センターでは、利用者のパスワード等のセキュリティを強化するため、メール受信要求時のパスワード等の通信を暗号化するためのPOPS/IMAPSサービスを始めました。現在、運用していますメール受信(POP/IMAP)サービスも引き続き行います。無線LANでメールを利用しているユーザは、パスワード等を盗聴される恐れがありますので、POPS/IMAPSを利用して暗号化を行ってください。

POPS/IMAPSは、SSLの機能を持ったメールソフトであれば、メールソフトの設定を行うだけでパスワード等の通信を暗号化することができます。

(1) WinbiffでSSLを使うときの設定手順

利用しているWinbiffに[SSLを使う]のチェック項目がない場合は、Winbiffを最新版にバージョンアップしてください。

- ・ Winbiffを起動し、メニューバーから[ツール] [オンライン]をクリックし、オフラインにします。
- ・ [ツール] [ユーザ設定]をクリックし、「ユーザ設定」ウィンドウを開きます。
- ・ [アカウント]に登録されている名称をクリックし、[プロパティ]をクリックします。
- ・ [受信]タブをクリックし、[SSLを使う]をチェックし、[OK]ボタンをクリックします。
- ・ 「ユーザ設定」ウィンドウの[OK]ボタンをクリックします。
- ・ メニューバーから[ツール] [オンライン]をクリックし、オンラインにします。

(2) Outlook(OutlookExpress)でSSLを使うときの設定手順

- ・ Outlookを起動し、メニューバーから[ツール] [アカウント(A)]を選択します。
- ・ アカウントを選択し、[プロパティ(P)]をクリックします。
- ・ [詳細設定]タブをクリックし、受信メール(POP3)下の「このサーバーはセキュリティで保護された接続(SSL)が必要(C)」にチェックし、[OK]ボタンをクリックします。
- ・ 「インターネットアカウント」ウィンドウの[閉じる]ボタンをクリックします。

(3) AL-MailなどのSSL未対応のメールソフトでSSLを使うときの設定手順

AL-MailはSSL未対応ですが、SSL通信を可能にするフリーソフトウェア「wstone」と併用することによりAL-Mailでもメール受信要求時のパスワード等の暗号化通信を行うことができます。

- ・ wstoneをダウンロードします。(http://www.orangesoft.co.jp/products.html)
- ・ wstoneを起動します。
- ・ wstoneのPOP3をチェックし、POP3のHostnameに mail.cc.saga-u.ac.jp を入力します。
- ・ AL-Mailを起動し、メニューバーから[ツール] [オプション]を選択します。
- ・ [アカウント]タブのサーバ情報にあるPOP3サーバ名を、localhostに変更します。

AL-Mailを利用するときは、wstoneを起動し、[Start]ボタンをクリックした後、AL-Mailを起動します。

(4) Macintoshで利用できるSSL対応メールソフトについて

Macintoshで利用できるSSL対応メールソフトは、OutlookExpress、Eudora5.1-J、MacOSX Mail(プリンストールソフト)などです。